

〈シンポジウム：変化の中の病院図書室〉  
アメリカにおける病院図書室  
Mt. Sinai Hospital の図書館を  
利用して  
国立京都病院脳神経外科  
新 島 京

ニューヨーク五番街の西側、96丁目から101丁目の間にセントラルパークに面して、Mt. Sinai Hospital は建っている。ここは、私の師匠で顕微鏡脳神経外科のパイオニアである Leonard I. Malis をはじめ、パーキンソン病の第一人者である Yahr、古くは血管外科の Jacobson など多くの巨人を輩出している老舗の名門病院である<sup>2), 3)</sup>。広い敷地の中心に位置する27階建てのアネンバーグビルディング（国内線のラガーディア空港発着便はこの建物の上を通過する）の9、10、11階を占めるのが、The Gustave L. and Janet N. Library である（写真1）。この名称は、図書館設立の際に莫大な寄付金を贈ったLevy夫妻に由来する。ちなみに、Mt. Sinai Hospital の正式な住所は、One Gustave L. Levy Place, New York, New York であり、いかに彼らが財政的に貢献したかが伺いしれる。病院に附属した（日本では大学が先で、それに病院が附属しているのが普通であるが）Mt. Sinai 医科大学は本来私立でありながら、ニューヨーク市への納税額が多めで優良大学ということで、同時にニューヨーク市立大学の医学部としても認められている。アメリカ、特にニューヨーク市では、建物の名前から公の地名に到るまで、何でも買えるわけである。

さすがに豊潤な資金を誇るだけあって、日本の病院図書室とは比較にならない規模と設備で、私がかつて在職した国立循環器病センターの図書館が本邦では最高峰の一つであったとはいうものの、隔絶の感があった。11階でエレベーターを降りると出入り口があり、そこで病院スタッフの身分証と図書貸出及び館内施設利用のための白いカード（写真2）

を呈示してセキュリティゲイトをくぐる。当地では盗難・テロ等が日常茶飯事なので、どんなに顔見知りであっても、この2枚のカードを携帯していなければ入館させてもらえない。ここには15万冊を越える蔵書と1000種類以上のジャーナルが揃えられている。ロビーのカウンターには5台の文献検索用のコンピューターが設置されていて、書名・著者名いずれかの頭の3文字またはキーワードさえ知っていればお目当ての本の所在が判る仕組みになっている。単行本は11階に、ジャーナルは10階にある。2週間ごとに新刊書が20冊位ずつ寄贈もしくは購入され、その都度古い本から順に9階の書庫に保管されていく。

10階には、いわゆる本の他に、医療スタッフや学生が朝7時から夜11時まで自由に使えるコンピューター室が開放されている。脳外科の秘書が休暇中の時などには、ペーパー書きのために利用させてもらったものである。この階には、テクニシャンが常在する教育用のオーディオビジュアル室もあり、私がやった手術解剖実習の教育用3次元ビデオの試写・放映や手術ビデオのコピー、そしてMt. Sinai Hospital に残っている100年以上も昔の貴重な歴史的文献・写真のスライド作成なども請け負ってくれる。当院は、“Mt. Sinai Journal of Medicine” という独自の医学ジャーナルを全世界に向けて刊行しているが、そのeditorial office もこの階にある。当時、私は米国脳神経外科コンgresの機関誌である“NEUROSURGERY”のAd Hoc Reviewer<sup>1)</sup>として掲載論文の末尾に付くコメントを書く役目を仰せつかっていたが、折りにふれてこのoffice にお邪魔させてもらったのが懐かしい。尤も、“仕事が目的ではなくて、目当てはアシスタントの女性ではないのか”、とボスのLenny(Malis)に見透かされてひやかされていたのだが。残念ながら、彼女のリアルタイムの居場所を検索するためのコンピューターまでは完備されていなかった。

私の場合は、手術をするために Mt. Sinai に居たわけであるが、それでも並々ならずこ

この図書館の恩恵にあずかった。依然からスケールの大きなアメリカとは認識していたものの、病院図書館一つをとっても、その規模と内容には驚かずにはいられなかった。

悪名高い地下鉄を足として、深夜のハーレムやソーホーへもよく行ったものだが、幸いトラブルに巻き込まれることもなかった。世界で最も危険な街ニューヨークも、そこできまぐさ生活する“こつ”さえ掴めば、世界で最もエキサイティングで可能性を秘めた場所と感ぜられるのである(写真3)。



写真1 : Mt. Sinai Hospital の中央にそびえ立つアネンバーグビルディング。この9, 10, 11階に図書館がある。

### 〈文献〉

- 1) Announcements: AD HOC REVIEWERS. Neurosurgery 29:959, 1991
- 2) 新島 京: 海外だより—ニューヨーク・マウントサイナイより 脳神外科 19:1101-1103, 1991
- 3) Oppenheim JS: Neurosurgery at the Mount Sinai Hospital. J Neurosurg 80:935-938, 1994

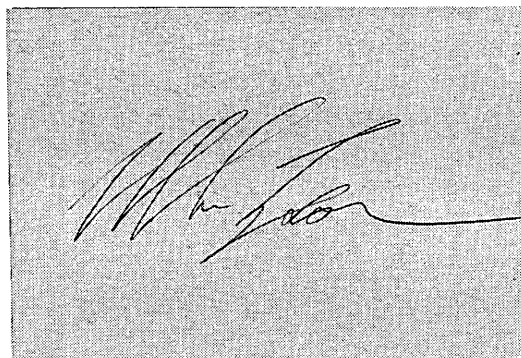


写真3 : 収監前の元世界ヘビー級チャンピオンマイク タイソンの直筆サイン(1990年12月29日、パークアベニュー64丁目のレストランでご馳走してもらった折りに)

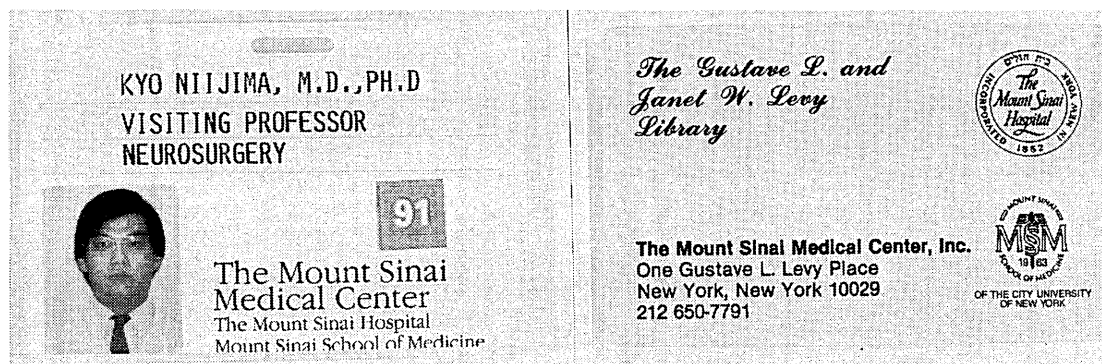


写真2 : 身分証(左)及び図書館利用者カード(右)